

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

| | | | | |
|-------------|---|-----------------------|----------|-------|
| ■事業の担当課 | 生活環境部クリーン推進課 | | ■担当係 | ごみ減量係 |
| ■評価事業名称 | 北上市公衆衛生組合連合会補助金(事務局業務含む) | | | |
| ■評価事業コード | 030300 - 022 | ■会計区分 | 一般会計 | |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり | | |
| | ■基本施策 | 02 資源循環型社会の形成 | | |
| | ■施策 | 01 ごみの不適正排出・不法投棄の防止 | | |
| ■事業の類型 | 06 負担金・補助金(ソフト事業) | | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | | |
| ■法令等の名称 | | | | |
| ■関連計画の名称 | | | | |
| ■事業の概要 | ごみの不法投棄対策と防止、ごみの分別徹底指導、リサイクルの推進・指導で地域の環境美化を図る。125地区公衆衛生組合が公衆衛生活動を実施するにあたり活動費として交付 | | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成 24 年度事業計画 | 平成 24 年度事業量実績 |
|--------|--------------------|-------|--------------|---|
| 01 | 北上市公衆衛生組合連合会事業費補助金 | 連合会 | | 会議 ・定期総会 1回 ・理事会 8回 研修 ・理事研修 8月 ・集団資源回収団体説明会11月 ・地区組合長研修会 11月 地区事業 ・春・秋清掃週間 ・北上市クリーン活動 8月 ・ごみ減量作戦 10月 ・薬剤あっせん事業 春・秋 ・不法投棄監視パトロール 3回 ・ごみの出し方啓発事業 7月 ・環境美化及び環境整備事業(不法投棄監視カメラ設置 4地区) |
| 02 | ごみ集積所整備費補助金 | 地区 | | 補助金交付件数:46件 補助金交付額 1,154,950円 交付件数 ごみ集積箱等新設 19件(20箇所) 修理・移設 5件(11箇所) 被覆ネット購入 22件(44枚) |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 11,544 | 13,587 | 9,843 | 9,998 | |
| 人件費 | 5,413 | 8,263 | 7,218 | 8,576 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 16,957 | 21,850 | 17,061 | 18,574 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 指標の説明 |
|-------|-----------------------|---------|---------|---------|---------|-------------------|
| 01 | ごみの減量化・資源化の推進(リサイクル率) | 0.247 | 0.235 | 0.235 | 0.227 | ごみ総量に対する資源ごみの量 |
| 02 | 衛生パトロール | 58回 | 54回 | 50回 | 58回 | 地区で年3回程度のパトロール実施。 |
| 03 | ごみ処理量 | 24,391t | 24,202t | 25,792t | 25,622t | |

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

平成23年度ごみ処理量は、震災の影響もあり増加している。平成24年度は前年度より減少しているが、震災以降ごみ処理量は増加している。

問題点・課題等

ごみの手数料化によりごみ処理量が減少したが、手数料化から数年経過したこともあり、ごみの分別が甘くなってきているように見受けられる。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

公衆衛生組合連合会活動の中で、ごみ分別の周知を徹底していく。